

令和5年度(前期) 沖縄歯科衛生士学校 自己評価結果(歯科衛生士科) 2023年9月実施

評価	4:適切	3:ほぼ適切	2:あまり適切ではない	1:不適切	評価者(合計16名)
----	------	--------	-------------	-------	------------

教育理念

豊かな人間性を養い地域社会の健康と福祉に貢献できる歯科衛生士を育成する

学校教育目標	1. 幅広い見識と高い倫理観を持つ歯科衛生士を育成する
	2. 科学的根拠に基づき、歯科医療の高度化と社会環境の変化に対応できる歯科衛生士を育成する
	3. 資質向上のため生涯学び続ける意欲を持つ歯科衛生士を育成する
	4. 多職種と連携し、地域の健康増進に貢献できる歯科衛生士を育成する
重点努力目標	1. 歯科衛生士国家試験全員合格を目指す
	2. 医療人として健康管理や時間厳守といった自己管理ができる人材を育成する
	3. 歯科衛生士としての必要な知識・技術を習得できるように学習意欲の向上を目指す
	4. 自ら課題を探求し問題解決能力を持つ人材を育成する
	5. カリキュラム・施設設備の充実を図り環境整備を進める

大項目	評価項目	R5 前期評価	成果、課題と今後の改善方策 (R5年度後期に向けて)	第一回 学校関係者評価委員のご意見
I 教育理念、目的、人材育成像	1. 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4.0	<b>【成果】</b> ・入学案内や封書等の印刷物へ掲載したところ、改善がみられる	・ハラスメントに関しては、教職に就く学生には実習前に伝える。被害者になる可能性があっても、評価される立場だから学生からは言えない可能性がある。また加害者になる可能性もあるし、被害者になる可能性もある。「こんな時は声を出してもいいんだよ」「黙ってはいけないよ」という事を伝える必要もあるのでは。
	2. 学校における職業教育の特色を示しているか	4.0		
	3. 社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.7	<b>【課題】</b> ・印刷物を見ない学生・保護者もいるため、より周知出来るか不透明。 ・医療面接能力の向上。メンタルヘルスの保ち方。	
	4. 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・保護者等に周知がなされているか	3.6	<b>【改善方策】</b> ・入学式やオリエンテーション、登院式でこの項目について現状ともに周知していく。 ・カスタマーハラスメントへの対処	
	5. 教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向付けられているか	3.9		
II 学校運営	1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	3.8	<b>【成果】</b> ・情報システム化においては、若干だが数値が向上している	特になし
	2. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.8		
	3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	3.8	<b>【課題】</b> ・人事・給与に関する制度の評価が低くなっており社会情勢と乖離している。 ・学生管理システムの運用方法の検討や改善を行う。	
	4. 人事、給与に関する制度は整備されているか	3.2		
	5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3.6		
	6. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.6	<b>【改善方策】</b> ・人事・給与は既定の周知、見直しを行う。 ・システム化は業務の見直しや簡素化できる箇所を検討・対策していく。	
	7. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0		

大項目	評価項目	R5 前期 評価	成果、課題と今後の改善方策 (R5年度後期に向けて)	学校関係者評価 (第一回)
Ⅲ 教育活動	(目標の設定等)			
	1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が、策定されているか	3.8	【成果】 ・前回より評価が下がったが、高水準を保っている。	特になし
	2. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.8		
	(教育方法・評価等)			
	3. カリキュラムは体系的に編成されているか	4.0	【成果】 ・今後の課題が見えてきており、対策も案が出て実行している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口頭の説明だけで(耳からの情報)理解して把握する事が難しい学生が増えている感じがする。視覚からの情報が必要な学生が多いと感じる。</li> <li>・手書きで書くよりもスマホ入力だと文字数が増えるので、そのような工夫を取り入れる必要もあるのではないかと。</li> <li>・Z世代の理解について教員全体で(上江洲先生を講師に)情報共有ができるといいのでは。</li> <li>・授業評価は数値評価では無く、変えて欲しい所(内容)を書く、「変えた方が良いと思うのは変えていく材料にして下さい」というような感じで。</li> <li>・学生が講師を評価と言うような感じでは無く、パワーポイントの文字、声が小さい等。</li> </ul>
	4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.4	【課題】 ・まだ、対策の実行が始まったばかりであり、今後の変化を検討する必要がある。 ・Z世代への対応力の向上	
	5. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4.0	【改善方策】 ・来年度(R6)に向けての案もいくつか出ており、今後実施していく。 ・学生の評価が妥当なものかは疑わしい、そのまま公表すると気分を害する方もいる	
	6. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4.0		
	(資格試験)			
	7. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.9		特になし
(教職員)				
8. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.1	【成果】 ・早ければ来年(R6)度には、「歯科衛生士(教育)」認定を取得可能な職員が1名いる。	特になし	
9. 関連分野における業界との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3.4	【課題】 ・「歯科衛生士(教育)」認定を得られる教員の育成。		
10. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.5	【改善方策】 ・継続して予算を確保し、認定取得する職員を増やしていく。		
Ⅳ 学修成果	1. 就職率の向上が図られているか	3.9	【成果】 ・高水準を維持している。	特になし
	2. 資格取得率の向上が図られているか	3.9	【課題】 ・県外での就職や、就職活動自体をしているか不明な学生がいる。	
	3. 退学率の低減が図られているか	3.6	【改善方策】 ・歯科衛生士としての仕事の有益性を学生に自覚してもらえるような対策を考える。	
	4. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3.4		

大項目	評価項目	R5 前期 評価	成果、課題と今後の改善方策 (R5年度後期に向けて)	成果、課題と今後の改善方策 (後期)
V 学生支援	1. 就職に関する支援体制は整備されているか	4.0	<b>【成果】</b> ・スクールカウンセラーの設置ができた。 ・就職説明会を開催。  <b>【課題】</b> ・今後、どのようにスクールカウンセラーを運用していくか検討が必要  <b>【改善方策】</b> ・カウンセリングの現在の運用を検討し改善していく。 ・就職説明会を早期に広報する。	・子育て等で離職し復帰予定の卒業へ、学園祭への呼びかけが出来たら良いのでは。 ・技術的な支援、再就職支援に繋がらないか。 ・社会状況の変化、雇用体系の変化等の情報が入りにくい卒業生への支援の必要性 ・カウンセリングの方法について、1年次で全員に対して10～15分程度実施してみてもどうか。落ち着いてきたら、2カ月に1度とかにしてみると等、相談しやすい環境作りの工夫も必要ではないか。
	2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3.7		
	3. 保護者と適切に連携しているか	3.7		
	4. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.8		
	5. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4.0		
	6. 卒業生への支援体制はあるか	3.7		
	7. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.6		
VI 教育環境	1. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	3.1	<b>【成果】</b> ・学費の増額がなされ、老朽化に対応すべく準備が進んだ。  <b>【課題】</b> ・機器や建物の老朽化で修理が必要なものが多い  <b>【改善方策】</b> ・中長期的な対策が必要。 ・IT化を推進して業務効率化を図る。 ・高額機器の必要性を再度検討。	特になし
	2. 学内外の実習施設について十分な教育体制を整備しているか	3.6		
	3. 防災に対する体制は整備されているか	3.3		
VII 学生募集	1. 高等学校等、接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	3.7	<b>【成果】</b> ・学費の増額で財政面は向上した。	特になし
	2. 学生募集活動は、適正に行われているか	3.8		
	3. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	3.8		
	4. 学生納付金は妥当なものとなっているか	3.9		
VIII 財務	1. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3.0	<b>【成果】</b> ・学費の増額で財政面は向上した。  <b>【課題】</b> ・退学者や休学者が今後も出る可能性が高くなっていると考えられる。  <b>【改善方策】</b> ・早期に学生を支援出来るような仕組みづくり	特になし
	2. 予算・収支計画は適切なものとなっているか	3.4		
	3. 財務について会計監査が適正に行われているか	3.8		
	4. 財務情報公開の体制整備はできているか	3.7		

大項目	評価項目	R5 前期 評価	成果、課題と今後の改善方策 (R5年度後期に向けて)	学校関係者評価 (第一回)
IX 法令等の遵守	1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.9	【成果】	特になし
	2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている	3.9		
	3. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.9	【課題】	
	4. 自己評価結果を公開しているか	4.0	【改善方策】	
X 社会貢献・ 地域貢献	1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3.1	【成果】 ・感染症の分類が下がった事により、対外的な実習やイベントも増えてきた。 【課題】 ・来年度は大きなイベントが予定されており、学生や教員の協力が必要	特になし
	2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3.4	【改善方策】 ・カリキュラムに含められるものを検討し、学校の事業としての対応を検討	

その他所見

・この評価は2020年(第2回)頃から開始しているので、縦の評価(数値)だけではなく、3～5年毎に折れ線グラフにして長いスパンで評価を見つめる必要もあるかもしれない。成果・課題・改善方策というように、課題があつて改善方策をしたけれど、それが成果に繋がったかという事が本当は大切。  
 ・課題とか、成果があつた場合、具体例を1～2つあげてお。再度検討する事(物)に有線順位がつけてあるのか。そういう事をやっていると手順が見えやすくなると思う。  
 ・合理的配慮については、授業をされる先生方も知っておく必要があつたりするかも知れない。